

青年の船交流事業について

	東南アジア青年の船	世界青年の船
経緯	1974年に日本とASEAN各国の共同事業として開始。 ASEANの拡大により参加国拡大	1967年に明治百年記念事業として「青年の船」事業が開始。1988年に「世界青年の船」事業に改組
参加国	日本+ASEAN各国	日本+12カ国程度（毎年選定）
参加人数	日本参加青年：20人 外国参加青年：150人（16×9カ国+6人）	日本参加青年：80人 外国参加青年：96人（8人×12カ国）
プログラム構成	日本プログラム（東京/地方プログラム）[約10日間] 船上プログラム（寄港地プログラム含む）[約30日間]	東京プログラム [約5日間] 船上プログラム（寄港地プログラム含む）[約25日間]
プログラム内容	<u>[東京プログラム]</u> ・総理表敬・皇族御引見 ・テーマに関する施設訪問 ・成果発表等 <u>[船上プログラム]</u> ・ディスカッション活動 ・文化交流・自主活動等	
	<u>[寄港地プログラム]</u> （ASEAN2カ国に寄港） ・ASEAN各国要人表敬・歓迎行事 ・文化体験・地元青年との交流 ・テーマに関する施設訪問 ・ホームステイ <u>[地方プログラム]</u> （グループ別で実施） ・知事表敬・歓迎行事 ・文化体験・地元青年との交流 ・ホームステイ	<u>[寄港地プログラム（兼 地方プログラム）]</u> （国内2地域に寄港、地域訪問活動・地域実践活動） ・知事表敬・歓迎行事 ・文化体験・地元青年との交流 ・テーマに関する施設訪問&ディスカッション活動（地域のNPO等と連携して課題解決の計画から実行までを行う） ※地域実践活動のみ